

横浜市事務職コース

関東エリアでは、東京特別区に次いで受験者数が多い人気の自治体である横浜市。
このコースでは、横浜市事務職合格を目指し、従来の通学講座を基本として横浜市事務職試験で出題される教養科目と一部専門科目を受講します。さらに、2次で実施される特殊な【専門時事論文】の対策講座や横浜市特化型面接対策も実施！

試験概要

平成30年度
公表内容より

第一次試験 6月4日曜日	■一般教養 出題内容：大学卒業程度の一般的知識（法律・政治・経済・社会・一般事情、人文科学、自然科学など）および一般的知能（文章理解、英文理解、判断推理、数的推理、資料解釈など）についての筆記試験＜60問全問解答＞
第二次試験 7月中～下旬	■専門時事論文 出題内容：法律・政治・経済・経営・社会・教育の各専門分野における時事的課題についての記述試験（6分野中1分野選択2題解答／1時間） ■個別面接
第三次試験 8月上～中旬	■個別面接

一般教養試験

横浜市
事務職
出題内容例

科目分野	一般知能	文章理解	社会科学	人文科学	自然科学	専門科目
受講科目	数的推理 判断推理 空間把握 資料解釈	現代文 英文	政治 経済 社会時事	日本史 世界史 地理	数学 化学 生物 地学	憲法 行政法 国際関係 社会政策
横浜市出題内訳例 (※要領記載の講座を元にした目安)	約15問	10問	約20問	4問	4問	約5～8問

事務職の試験配点総合660点

- 第一次試験：一般教養610点→最終時に15点換算
- 第二次試験：専門時事論文100点→最終時に15点換算／面接：200点→30点換算
- 第三次試験：面接600点

よって、面接試験の配点は
総合660点中630点を占めます！

ここ注目!!

「教養独自型60問必答」形式の横浜市事務職の試験は、例年専門科目も数問出題されています！
※左記の出題内訳例はあくまでも参考です。実施年度により内容は異なります。

開講日	1月生	2月生	3月生	4月生	5月生
全日 夜土部 現役生部	1月21日 (月)	2月25日 (月)	3月25日 (月)	4月22日 (月)	5月27日 (月)※

※全日制・高卒程度基礎レベルを選択した場合は5月20日(月)開講となります。

横浜市事務職型テストを特別実施!

全国公開模試に加え、横浜市の出題傾向に即した「横浜市事務職型テスト」を行います。本試験では、No.1～No.40は全職種が解答するため一度問題が完結し、No.41～No.60で事務・学校事務のみが難易度の高い問題を解答します。この独特の出題形式にあらかじめ慣れることで、本番では焦らずに問題を解くことが可能です！

実施時期(予定)：2020年3月

※「横浜市事務職型テスト」は、横浜市事務職対策コース生でなくても有料にてお申込みが可能です。

受験料：各回 4,000円(自宅受験 4,500円)

2018年度 横浜市事務 最終合格



山本悠紀さん

私が通っていた「横浜市事務職コース」では、横浜市独自の対策を無駄なく効率的にすることができました。横浜市事務職型テストは、本番に近い形で出題されるので時間配分や解答順を考えつつ、60問を集中して解く練習になりました。実際に本番の試験でも、教養以外の専門科目からの出題があったため、講義やテストで学習しておいてよかったです。また、専門時事論文対策講座では、各専門分野に詳しい先生方による出題予想や論文添削のおかげで、専門を勉強していなくても取り組みやすく短期間で対策することができました。さらに答えのない人物対策を進めるにあたって、横浜市特化型面接ガイダンスや個別面接練習は横浜市独自の面接の評価基準や考え方、自己分析の仕方などとても充実していて非常に役に立ちました。とても面倒臭い良い予備校で、同じ目標を持った仲間と切磋琢磨できたことが今回の合格に繋がったのだと思います。

特別講座として専門時事論文対策を実施!

事務職試験では第二次試験で特殊な論文試験が課されます。「横浜市事務職対策コース」のコース生はこの特別対策講座もコース内に含まれています。また、教養科目のみ勉強してきた方でも比較的書きやすい【教育】分野についても、特別対策講座を実施！教員採用試験対策講座を実施している東京アカデミーだからこそ、【教育時事・論文】を長年担当している講師による対策を実施することができます！

※専門時事論文対策講座はコース生でなくても有料にてお申込みが可能です(詳細は2020年4月公表予定)。

面接対策：横浜市特化型面接ガイダンスを特別実施!

横浜市は出願時にエントリーシートの提出が求められます。志望動機、今まで力をいれて取り組んだこと、自己PR等あらかじめ5月までに面接を想定して推敲しなければなりません。横浜校では【ES書き方ガイダンス】を論文担当講師が行い、希望者には事前添削も納得がいくまで行います！また、横浜市の面接は志望動機や個人の経験を中心に幅広い質問内容を掘り下げてくることが多いため、自己分析や自治体研究が重要です。この横浜市特化型面接のガイダンスでは、横浜市で実際に聞かれた質問内容などを例に取り上げながら、今までの合格者がどのように質問に答えてきたのか等を紹介しつつ、答え方のポイント等を指導します。

2019年 1・2・3・4月 9月 12月 2020年 1月 3月 4月 5月 6～8月

入門講座

全日制の方は入門講座を「高卒程度レベル」か「大卒秋試験レベル」のどちらか選択してください。
※夜土部・現役生部の方は「高卒程度レベル」からスタートです。

★初歩的な基礎から
始めたい方は：

【高卒程度基礎レベル】 詳細はP.44
 受講期間 2019年1月21日～8月末
 講義時間 1コマ：2時間／平均週3日程度
 平日 10:00～17:00(全日制)
 19:00～21:00
 (夜土部・現役生部)

or

★受験経験が有る方や、
基礎学力に自信がある方は：

【大卒程度秋試験レベル】 詳細はP.45
 受講期間 2019年1月21日～8月末
 講義時間 1コマ：2時間／平均週3日程度
 平日 10:00～17:00(全日制のみ)
 +
【専門科目入門講座】 詳細はP.43
 憲法・行政法のみ

基礎講座

全日制
 受講期間 2019年9月24日～2020年4月末
 講義時間 1コマ：2時間 平均週3日程度
 平日 10:00～17:00(一部科目は土日)

科目	コマ数	科目	コマ数
数的推理	8	数学	4
判断推理	8	物理	4
空間把握	4	化学	4
資料解釈	4	生物	4
現代文	3	地学	4
英文	3	憲法	10
政治	6	行政法	12
経済	6	国際関係	※5
社会	3	社会政策	※3
日本史	4	時事	3
世界史	4	論文	4
地理	4	面接	5

※国際関係・社会政策の講義は2020年4月以降に短期講習として実施

夜土部・現役生部
 受講期間 2019年9月24日～2020年4月末
 講義時間 1コマ：2時間 平均週3日程度
 平日 19:00～21:00／土日 10:00～17:00

科目	夜土部 コマ数	現役生部 コマ数	科目	夜土部 コマ数	現役生部 コマ数
数的推理	7	—	数学	2	—
判断推理	7	—	物理	2	—
空間把握	2	—	化学	2	—
資料解釈	2	—	生物	2	—
現代文	2	—	地学	2	—
英文	2	—	憲法	—	7
政治	4	—	行政法	—	8
経済	4	—	国際関係	—	※5
社会	1	—	社会政策	—	※3
日本史	2	—	時事	—	3
世界史	2	—	論文	—	4
地理	2	—	面接	—	5

基礎まとめ講座

全日制・現役生部
 受講期間 2020年1月20日～3月末
 講義時間 1コマ：2時間
 平日 10:00～17:00

科目	コマ数	科目	コマ数
数的推理	7	地理	3
判断推理	7	思想	1
空間把握	2	文学・芸術	1
資料解釈	2	数学	3
現代文	2	物理	3
英文	2	化学	3
政治	4	生物	3
経済	4	地学	3
社会	2	憲法	8
日本史	3	行政法	9
世界史	3	—	—

演習講座

全日制・現役生部
 受講期間 2020年4月1日～4月末
 講義時間 1コマ：2時間
 平日 10:00～17:00

科目	コマ数	科目	コマ数
数的推理	3	地理	1
判断推理	3	思想	1
空間把握	2	文学・芸術	1
資料解釈	2	数学	1
現代文	1	物理	1
英文	1	化学	1
政治	2	生物	1
経済	2	地学	1
社会	1	憲法	2
日本史	1	行政法	3
世界史	1	—	—

横浜市特化対策

- ★横浜市事務職型テスト
2020年3月
- ★横浜市特化型面接ガイダンス
実施予定時期：2020年3月

短期講習

1次試験の直前期(4月～6月)に分野別の弱点補強や志望先ごとの講座を行います。
※別途有料・要申込

専門時事論文対策講座

法律・政治・経済・経営・社会・教育
 実地時期：2020年
 6月下旬～7月上旬
 横浜市1次試験後から2次試験までの期間に、特別講座として各科目の対策を行います。

★短期講習の他、講義終了後(5～6月)に人物試験対策を中心とした各種フォローを実施予定です。詳細は後日ご案内予定いたします。

面接試験対策

1次試験合格後

※日時予約制・回数無制限

最終合格発表

8月下旬